

●昇天後主日

泉のほとり

今日の詩篇「第一四四編」

いかに幸いなことか、このような民は、
いかに幸いなことか
主を神といただく民は。



真理の霊が来られる

「真理の霊」が来られると、あなた方に真理をことごとく悟らせてくださると言われました。身近なこととしては「真理の霊」は私たちに「聖書のことば」が分かるようにしてくださいませ。聖書は「読めばわかる」、あるいは「勉強がよくできる人には分かる」と思われることも少なくないと思います。しかし聖書は「真理の霊」が教えてくださらなければ、分かりません。二千年前のユダヤ人たちは、毎日聖書を読んでいました。その指導者たちは更に聖書をよく研究していたのです。しかし彼らはキリストを罪人と定め、十字架につけて殺してしまいました。聖書と共に生き、真理の中に生きていくと強く自覚していたと思いますが、十字架のキリストに対する彼らの姿、昏からは真理という影すら見出すことができませぬ。聖書も神さまも知らないだけでなく、真理がその中にはありませんでした。聖書はそういう自分たちに気づかせようとしているのに、気づくことはありませんでした。真理を求める心ではなかったからです。キリストが目の前におられても、キリストの中にある真理を求める者は誰一人いませんでした。

ある時のことです。群衆の中の一人がイエスキリストに、「先生、遺産を私と分けるように、私の兄弟に言ってください」と言いました。真理、いのち、道である方を前にしても、この世のものを愛し、求める人にはキリストが自分の欲望を満たし、解決してくれる方にし

か見えませんでした。聖書の御言葉もあらゆる思い悩みにある自分を慰め、励ましてくれることばとしか読めないのです。また聖書の前後文脈などは日もくれば、キリストがこの箇所最後に言われた「わたしの名によって何でも願いなさい。そうすれば与えられる」ということばだけを勝手に自分に適用するのです。そういう自分自身を造り変えてくださる、最も必要な「自分」への真理のことばには耳を傾けません。それゆえに、キリストはこの世は「真理の霊」を見ようとも、知ろうともしないので受けることができなことも言われました。

真理であられるキリストが真理を語ってくださいました。目の前におられても、キリストの持つ真理、その宝を見出す者はなく、「私もあなたの持つその宝が欲しい」と願う者はほとんどいませんでした。彼らは真理ではなく、この世を愛し、この世のむなしものを追い求めていたからです。

聖書は私自身を造り変えてくださる神のことばで満ちています。キリストの十字架と死と復活が指し示している「真理」にのみ目を向けて、その宝のみを愛し、願う求める者に「真理の霊」は豊かに答えてくださいます。その与えられる宝は弟子たちが悲しみ、悲嘆に暮れても、何よりキリストご自身が十字架と死を通過されても弟子たちに与えようとされたものです。そのキリストにある宝を差し置いて、私たちは何を追い求めましょうか。一生、キリストにある真理を愛し、求めて、生きたいと思います。

わたしにお与えください

栄光の神、

恵みによって、わたしの生涯を正し、

死を恐れることなく、

自分の終わりを見つめることが

できるよう、お助けください。

あなたのうちに死を迎える者にとつて、

よき主よ、

それは豊かな命の門であります。

よき主よ、わたしにお与えください

謙虚でへりくだり、静かで平安な心を、

忍耐と慈悲に富み、優しく、

思いやりと慈しみに深い心を、

わたしのすべての仕事、すべての言葉、

すべての思いにおいて、

そのようにして、

あなたの聖なる祝福に満ちた筈に、

いささかでもあずかることが

できますように。

よき主よ、わたしにお与えください

全き信仰、確かな希望、燃える慈しみ、

そして、自分を愛するよりも

はるかにあなたを慕う愛を。

よき主よ、わたしにお与えください

あなたとともにありたいという

憧れの思いを、

この世の苦悩から逃れるためではなく、

天国の喜びを手にするためでさえなく、

ただ、あなたに対する愛のゆえに。

そして、よき主よ、わたしにお与えください

あなたの愛と恵みを。

あなたへのわたしの愛が

いかに大きくても、

あなたの大きいなるよさに、

わたしはふさわしくありません。

これらのことを、よき主よ、

わたしは祈り求めます。

あなたの恵みをわたしに満たし、

これらのものをわたしが

切に求めることができるよう、

助けてください、アーメン

平野克己 「祈りのともしび」より

トマス・モアの祈り

今日のお知らせ

○ 礼拝後、教会学校と並行してロビーでの
コーヒーサーブイスがあります。また園舎二
階のリズム室ではぶどうの会が開かれ、礼
拝で受けた恵みの分かち合いをします。ど
うぞご参加ください。

○ 第二礼拝後、ホールで讚美と報告の会をし
ます。お昼はお弁当です。

○ 今週一八日(金)朝一時から、シオンの
会があります。ハイデルベルク信仰問答の
問一二三を学びます。新しい方々の参加を
歓迎します。

○ 次週二〇日はペンテコステ礼拝です。聖霊
が来てくださり、この地上にキリストの体
である教会が誕生したことを祝って礼拝を
します。朝一〇時からの一回礼拝です。

○ ペンテコステ礼拝の中で、若池美穂子副牧
師の就任式を行います。

○ 五月一三日からの主日予定表を作り代えま
した。訂正版が伏差しに配布されていま
す。

讃美歌21 57番

GARIRAYA NO KAZE

曲：藤田尚晃，1935-

詞：羽村信男，1913-

ガリラヤの かぜ かおる おかで - ひと
びとにはなされた めぐみの みこと
ばを、 わたしにも きかせて ください。

(♩=94)

アーメン。

聖書の会へどうぞ

5月16日(水)

●朝の聖書の会(10時)

二人を残して

使徒18章18〜28節

黄允湜 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「祈りによって戦う」

ルカ22章39〜46節

吉村和雄 牧師

ミニコンサート

5月17日(木) 12時30分

「クラヴィーアと

ヴァイオリンのためのソナタ

ヴァイオリン演奏 山本美樹子

ト長調」他



次週礼拝

●ペンテコステ礼拝(午前10時)

讃美歌 180番 66番

説教 「聖霊の風が吹く」

聖書使徒2章1節〜13節

説教者 古村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 22番

ガリラヤの風

説教 「主イエスの執り成しの祈り」

聖書 ヨハネ17章6節～13節 (新約P202)

司式 山名 隆史 兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「天にはみ使い」 E.グレート

○ 讃美歌 22番

- 1.めさめよわがたま あさひにともない
あしたのほめうた みまえにささげよ
- 2.むなしくすごしし ときをばつぐのい
ちからのかぎりに みわざをつとめよ
- 3.うえよりたまわる たからをもちいて
おわりのさばきに かしこみそなえよ
- 4.かくるるものをも 主はしりたまへば
ことばとおもいを ひたすらきよめよ
- 5.めさめよわがたま この日もひねもす
みくにをのぞみて いそしみはげめや

アーメン

○ フルートによる讃美

「Benedicere～祝福～」 柳瀬佐和子

○ 讃美歌21 57番 (3面に楽譜があります)

- 1.ガリラヤの風かおる丘で
ひとびとに話された めぐみのみことばを
わたしにも聞かせてください。
- 2.あらしの日波たけるうみで
弟子たちにさとされた ちからのみことばを
わたしにも聞かせてください。
- 3.ゴルゴタの十字架のういで
つみびとをまねかれた すくいのみことばを
わたしにも聞かせてください。
- 4.夕ぐれのエマオへの道で
弟子たちに告げられた いのちのみことばを
わたしにも聞かせてください。 アーメン

聖餐曲「パン」 ヌナイダー

後奏曲「今ぞ言べ、我らキリスト者」 J.G. ヴァンデル

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 159番 335番

詩編 第144編 (旧約P984)

説教 「病を負われて」

聖書 マタイ8章14節～17節 (新約P13)

司式 山名 隆史 兄 聖餐司式 吉村 和雄 牧師

説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲「父のみもとに帰るキリストの祈り」

O.ルーツ

○ 讃美歌 159番

○ フルートによる讃美

「Benedicere～祝福～」 柳瀬佐和子

○ 聖歌隊による讃美

「主は勝たれた」 B.J. 9-4

何も起きないように 敵は勝ち誇るように
闇暗く見える今 彼は死に勝たれた

悲しみに立ちつくし 助けは望めないように
闇深く 見える今 彼は死に勝たれた 勝たれた

灰より再び 燃え出る火のように
贖いの力もて 主は我らをも立たせたもう

祈りは聞かれないように
望みは空しいように 見える時にこそ
主は顔顔を示して 勝利を得させたもう

○ 讃美歌 335番

聖餐曲「パン」 ヌナイダー

後奏曲「今ぞ言べ、我らキリスト者」 J.G. ヴァンデル

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。